

児童発達支援 支援プログラム

- ▶株式会社esque
- ▶作成日：令和7年3月1日



理念

「らしさ」を活かし 「らしさ」を尊重する

支援方針

- ▶ えすく笠松の児童発達支援では、子どもたち一人ひとりの「らしさ」を尊重し、その可能性を最大限に発揮できる環境づくりを目指しています。子どもたちの成長や自立を支えるため、以下の方針に基づき支援を行います。

【楽しさと達成感を育むサポート】

子どもたちが「やってみたい!」と思える活動を通じて、小さな成功体験を積み重ねられる場を提供します。「環境を整え、楽しく、程よいチャレンジで自信を育む」という考えのもと、達成感を味わいながら成長できる支援を行います。

【共感とコミュニケーション力を育むサポート】

自分の気持ちや考えを伝える第一歩を大切にし、思いやりの心を育む活動を行います。グループ活動や簡単なやりとりを通じて、感謝や譲り合いの気持ちを言葉で表現する練習をしながら、少しずつ相手の気持ちに寄り添う経験を重ねていきます。こうした取り組みを通じて、子どもたちが共感的なコミュニケーションを身につけ、自信を持って次のステップに進める力を育みます。

【個別支援の充実】

個性とニーズを丁寧に把握し、個別に適した支援プログラムを提供します。平日午前中の部は主に1対1の支援を行い、デジタルツール療育、運動、個別学習などを通じて自信を育みます。土曜日、祝日、長期休暇には集団活動を実施し、仲間と関わりながら楽しみ、成長できる場を提供します。

【環境整備と安全確保】

安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。デジタル機器や運動器具、学習スペースを備えた設備を整え、子どもたちが安全で快適に活動できる場を提供します。また、余暇時間には、学習する子と遊ぶ子が分かれる際に真ん中の大きなカーテンで仕切り、それぞれが集中しやすい環境を整えています。さらに、認知機能トレーニングでクラス分けを行う際にも同様にカーテンを活用し、目的に応じた最適な環境で取り組めるよう工夫しています。また、職員全員が定期的に安全管理研修を受講し、支援の質を維持しています。

【保護者との連携】

子どもたちの成長を見守るため、保護者との密な連携を重視しています。定期的な報告や面談を通じ、家庭と事業所が一体となって支援を行い、より良いサポートを提供します。

営業時間

平日

10時00分～19時00分

送迎サービスあり
※ご相談ください

土曜日・祝日・長期休暇

8時00分～17時00分

送迎サービスあり
※ご相談ください

支援内容

本人支援

健康・生活

運動・感覚

認知・行動

言語
コミュニケーション

人間関係
社会性

家族支援

移行支援

地域支援

本人支援

【健康・生活】

▶ 【活動スケジュールの設定】

- ▶ 子どもたちが一日の流れを把握し、安心して過ごせるよう、全体のスケジュールを設定し、絵カードなどを使ったスケジュール表を掲示しています。これにより、次に何をするかを見通せる環境を整え、計画的に活動に取り組む力を育てます。

▶ 【健康状態の把握】

- ▶ 毎日の健康状態を確認し、小さな変化にも早く気づけるようサポートします。成長過程にある子どもたちの体調を見守りながら、安心して活動に参加できる環境を整えています。

▶ 【活動場所の構造化】

- ▶ 子どもたちが集中して活動できるよう、活動場所を整理し、道具や物の場所がわかりやすい環境を整備しています。自分で道具を見つけ、使えるようになることをサポートします。

▶ 【生活スキルの習得】

- ▶ 子どもたちが成長に合わせて自分で取り組む姿勢を大切にし、「できた！」という達成感を積み重ねられるよう支援します。
- ▶ ・整理整頓／物の場所や使い方を楽しく学び、整理整頓の習慣を少しずつ身につけられるようサポートします。
- ▶ ・食育／旬の野菜や果物に触れながら食材の名前を覚え、栄養について楽しく学ぶ中で、食べ物への感謝の気持ちを育てます。また、「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶を通じて、食べ物を大切にすることを育みます。
- ▶ ・身だしなみ／清潔さや身だしなみを整える大切さを伝え、自己管理の基本を楽しく学べるよう支援します。
- ▶ ・排泄のサポート／成長段階に応じたサポートを行い、安心して自立に向けた取り組みができる環境を提供します。
- ▶ ・準備と片付け／活動の前後に簡単な準備や片付けを取り入れ、「自分でできた！」と感じられるよう楽しく支援します。



本人支援【運動・感覚】

▶ 【デジタル療育】

- ▶ 子どもたちの感覚発達を促し、視覚や身体の動きを楽しく鍛えるため、笠松校ではデジリハやスープリュームビジョンLといったデジタル機器を活用した療育を行います。映像やインタラクティブなプログラムを通じて、視覚認知や空間認識、バランス感覚を効果的に刺激し、運動能力の向上を支援します。デジタル技術を取り入れることで、子どもたちはゲーム感覚で楽しく取り組みながら、自分のペースで感覚機能を高めていくことができます。

▶ 【リズム体操】

- ▶ 映像と音に合わせて体を動かすリズム体操を毎日の活動に取り入れ、リズム感や体の動かし方を楽しく身につけられるよう支援します。映像の動きを模倣することで、リズムや動きへの理解を深めます。

▶ 【運動】

- ▶ 運動時には、タイミングを取る動きやリズムに合わせた運動、記憶と運動を組み合わせた内容を取り入れています。「またぐ」「くぐる」「ジャンプ」「色合わせ」などの簡単で楽しい動きに加え、「触る」「渡る」などの要素を取り入れることで、多様な感覚を刺激します。また、動物歩きや模倣、走る運動も行い、指示に応じて「ストップ」する制御運動を通じて、自分の動きをコントロールする力を育みます。

▶ 【定期運動プログラムのローテーション】

- ▶ 以下の運動を週替わりで実施し、バランス感覚や基礎的な体力を育てます。

- ▶ ・バランスクッション
- ▶ ・バランスボード
- ▶ ・ストレッチ
- ▶ ・ボール
- ▶ ・チューブトレーニング
- ▶ ・サーキットトレーニング
- ▶ ・認知作業トレーニング（新聞帽を使用）

▶ 【土曜日、祝日、長期休暇の行事】

- ▶ 外出や特別な行事を通じて、子どもたちが楽しみながら活動に参加できる機会を提供します。また、土曜日2回/月でキッズヨガの講師をお招きし、ヨガを通じた体験活動を取り入れることで、心と体の調和を育む時間を提供しています。



本人支援【認知・行動】

▶ 【認知機能のトレーニング】

▶ 色や物の大小、形の違いなど、基礎的な認知スキルを遊びを通じて育てます。絵カードや絵合わせを使った活動、なぞり書きやシール貼りを取り入れ、視覚や触覚を活用しながら楽しく学べる環境を提供します。

▶ 【感覚遊びからのスタート】

▶ 書くことやなぞることがまだ難しいお子さまには、感覚遊びから始めています。玉が落ちる遊具や磁石を使った釣り遊び、粘土遊び、ボール転がし、小さなブロックの積み上げなどを取り入れ、視覚、触覚、動作感覚を楽しく刺激しながら基礎的なスキルを自然に育みます。

▶ 【情報処理能力の向上】

▶ 視覚や聴覚を意識した活動を通じ、音や形だけでなく、視覚情報や聴覚情報を効果的に理解し、記憶し、判断して行動に移す力を育てます。これにより、日常生活で必要な認知や反応のスキルを自然に身につけられるよう支援します。

- ▶ ・音の順番当てゲーム／複数の音を順番に鳴らし、その順番通りに再現して聴覚の記憶力を育てます。
- ▶ ・形と色の仕分けゲーム／色や形のブロックを決まったルールで仕分けし、判断力と反応力を鍛えます。
- ▶ ・指示反応ゲーム／「赤いカードを指差して」「丸い形を見つけて」などの指示に従い、集中力と反応力を高めます。
- ▶ ・ビジュアルパターン模倣／カラフルなブロックや絵カードを使い、視覚的な順序処理と模倣力を育てます。

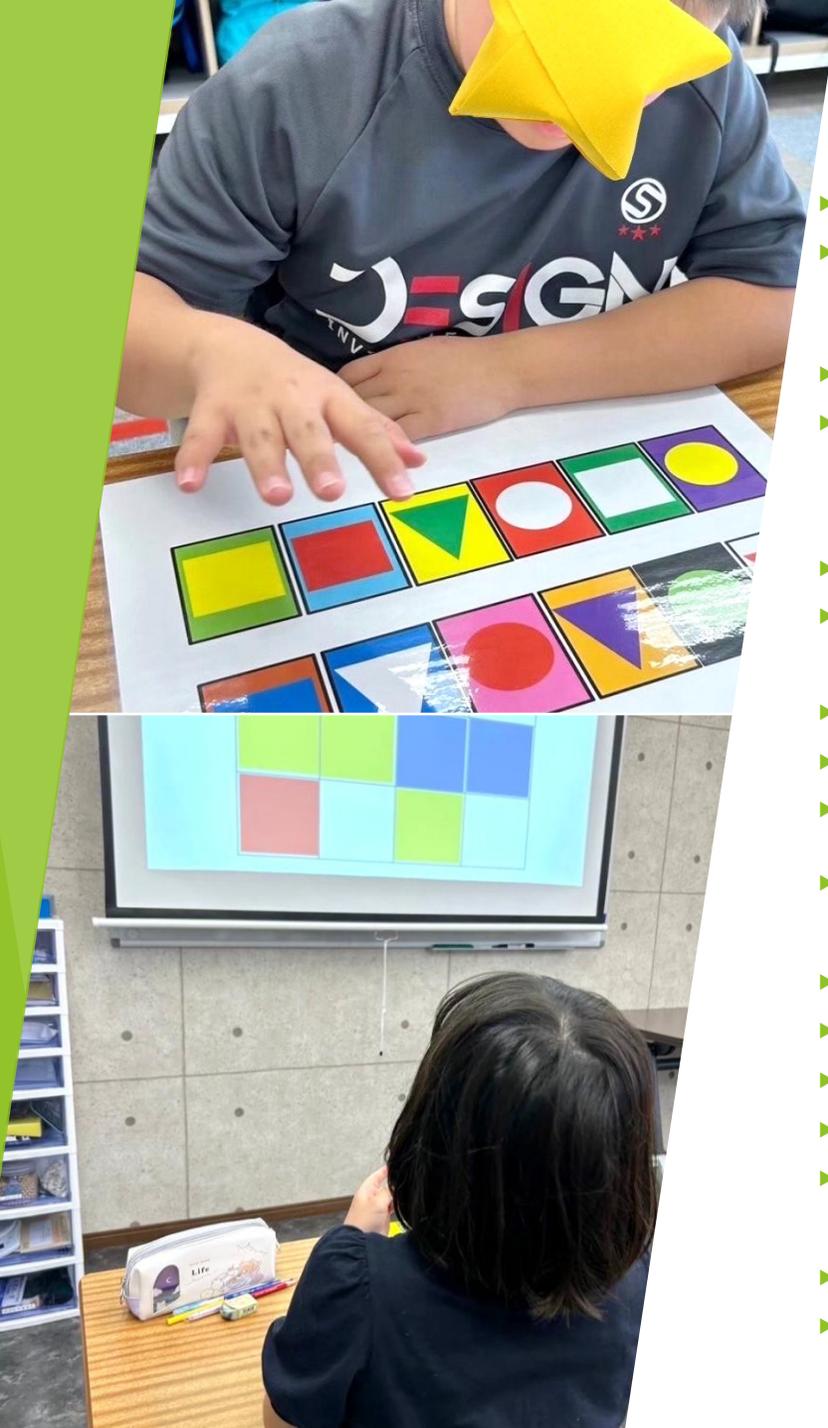
▶ 【記憶力のトレーニング】

▶ 短時間で覚える遊びを通じて、自然に記憶力を育てます。

- ▶ ・フラッシュカード遊び／一瞬見た絵や文字を思い出します。
- ▶ ・かくれんぼゲーム／並べたアイテムの中から隠れたものを当てる遊びを行います。
- ▶ ・順番当て／色やフルーツのカードの順番を覚え、楽しく記憶力を鍛える機会を提供します。

▶ 【専門的な支援】

▶ なぞり書き、シール貼り、感覚遊び、絵カードを使った活動など、子どもたちが楽しみながら取り組めるアクティビティを通じて、認知力の基礎をサポートします。



本人支援 【言語・コミュニケーション】

- ▶ **【言語の理解と表現の支援】**
 - ▶ 具体的な体験を言葉と結びつけ、自然に言葉を学べる環境を提供します。自発的に言葉を発する機会を増やし、発達段階に応じた言葉や記号を使って、相手の意図を理解し、自分の気持ちや考えを伝える力を育てます。
- ▶ **【コミュニケーション能力向上の支援】**
 - ▶ お友だちや先生との関わりを通じて、共同注意を引き出し、指差しや身振り、サインなど発達段階に応じた手段を活用してコミュニケーションスキルを育てます。また、個々の特性や状況に応じた柔軟なコミュニケーションが取れるようサポートします。
- ▶ **【読み書き能力の向上】**
 - ▶ 絵本の読み聞かせや簡単な文字のなぞり書きなどを通じて、楽しく読み書きの力を育てます。子どもたちが興味を持ちながら、日常生活に活かせるスキルを身につけられるよう支援します。
- ▶ **【実践的コミュニケーション活動】**
 - ▶ 日常のやり取りをテーマにしたロールプレイや、カードやソーシャルスキルカルタを使った活動を通じて、コミュニケーションの練習を行います。また、土曜日の活動では制作物のミニ発表会を実施し、自分の作品を皆に紹介することで自己表現や人前で話す力を育む機会を提供しています。



本人支援【人間関係・社会性】

▶ 【マナーとルールの習得】

- ▶ 公園遊びや事業所内のイベントを通じて、基本的なマナーやルールを少しずつ学びます。集団での遊びや体験を通じて、「順番を守る」「みんなで使う」といったルールに親しみながら、楽しく社会での関わり方を学べるよう支援します。

▶ 【ソーシャルスキルトレーニング（SST）】

- ▶ 嬉しい気持ちや悲しい気持ちなど、さまざまな感情を理解できるようサポートします。月曜日から金曜日の午前中は個別支援で一人ひとりに寄り添い、土曜日、祝日、長期休暇には集団活動を行い、みんなと関わりながら成長する機会を提供します。ハプニングや失敗も成長の一部と捉え、経験を通じて「大事にしたい約束ごと」を学びます。他者への思いやりや、場面に応じた行動を自然に身につけられるよう支援します。

▶ 【食育と協力活動】

- ▶ 食事中には、正しい姿勢やマナーを自然に学びながら楽しく食事を楽しめるよう支援します。例えば、姿勢を正して座る、ゆっくり口を閉じて食べる、よく噛んで味わうことを少しずつ身につけられるよう、子どもたちのペースに合わせた工夫を取り入れています。
- ▶ また、食事の準備や片付けでは、お皿やコップを運んだり、順番にお皿を拭いたりする活動を通じて、協力し合う楽しさや「ありがとう」と感謝の気持ちを自然に感じられるようサポートします。



家族支援

▶ 【見立て（発達状況の評価）】

- ▶ お子さまの発達や特性を専門的な視点から評価し、現在の進み具合や今後の目標を保護者の方と共有します。お子さまに適した支援方法を見定め、ご家庭でも活かせる具体的な助言を提供します。

▶ 【計画（目標設定と支援の計画）】

- ▶ 発達段階や個別のニーズに合わせて、わかりやすい目標を設定します。その目標に基づき、具体的な支援方法を保護者の方と一緒に考え、効果的な支援計画を立てます。計画は柔軟に見直ししながら、お子さまの成長の様子に合わせて調整します。

▶ 【手立て（支援方法の策定と説明）】

- ▶ 設定した目標に基づいて、最適な支援方法を考えます。支援内容や期待される効果を保護者の方にわかりやすく説明し、ご家庭で取り組める方法を提案します。保護者のフィードバックを反映しながら、支援の内容を随時調整します。

▶ 【実行（支援の実施とフォロー）】

- ▶ 計画に沿った支援を日常生活やプログラム内で実施します。支援の効果やお子さまの反応を見ながら、必要に応じて方法を調整します。保護者の方には事業所でのお子さまの様子を観察していただく機会を提供し、支援内容やその意図について理解を深めてもらいます。家庭で実践できる方法も助言し、保護者と連携しながら継続的な支援を行います。

▶ 【ご相談・サポート】

- ▶ 以下の内容について、対面または書面でのご相談・サポートを提供します。
 - ▶ ・お子さまの発達に関するご相談
 - ▶ ・支援内容やその効果についてのアドバイス
 - ▶ ・家庭生活や集団活動における関わり方についての助言
 - ▶ ・兄弟姉妹との関わり方や家族内でのサポートに関するご相談
 - ▶ ・福祉制度や支援サービスの利用についてのアドバイス

移行支援

- ▶ ※インクルージョン（包容）の考え方に基づき、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが地域の中で一緒に成長し、次のステップへ進めるよう支援します。子どもたちが自信を持って未来へ向かえるよう、必要なサポートを提供します。
- ▶ **【日常生活スキルの向上】**
- ▶ 着替えや食事、お片付け、時間を守ることなど、生活に必要なスキルを日常の活動を通じて少しずつ身につけられるよう支援します。これにより、家庭や園生活で安心して行動できる力を育てます。
- ▶ **【社会的スキルの向上】**
- ▶ お友だちや先生と一緒に過ごす中で、挨拶や順番を守ること、みんなでルールを意識して楽しく活動することを学びます。これにより、自然に集団での過ごし方や周りの人との関わり方が身につくよう支援します。
- ▶ **【将来に向けたコミュニケーション支援】**
- ▶ 基本的な挨拶やお話のやりとりを、日常の活動を通じて楽しく練習します。これにより、必要なコミュニケーションスキルを育み、社会での自己表現力を高める土台を支援します。
- ▶ **【園や関係機関、移行先との連携】**
- ▶ 園や地域の関係機関、移行先（学校）と連携し、進級や就学など次のステージへのスムーズな移行をサポートします。ご家族の了承のもと、必要な情報を関係機関と共有し、お子さまの成長に合わせた支援を行います。
- ▶ **【自己決定力の向上】**
- ▶ 子どもたちが自分で「これをやってみたい」「こうしてみよう」と選び、行動できる力を育てます。この経験を通じて、これからの選択やチャレンジに自信を持てるようサポートします。
- ▶ **【保護者へのサポートと連携】**
- ▶ 家庭でのサポートが一貫して行えるよう、保護者との連携を重視します。定期的な相談やアドバイスを通じて、家庭、園、地域が協力してお子さまの成長と次への移行を見守ります。

地域支援

- ▶ 家庭、園、相談員、他の事業所と連携し、共通認識をもとに一貫した支援を提供できるよう努めています。子ども一人ひとりに合わせた支援がスムーズに行えるよう、関係者との情報共有を重視し、地域全体で子どもたちを支え合う温かい環境づくりを目指しています。



職員の質の向上

【朝のミーティングと終礼】

朝のミーティングでは、子どもたちが安心して過ごせるよう、当日の予定や注意点を確認します。特に、運動の内容や流れについては、その日の各時間帯のメンバーに合わせた内容と、さらにお子さま一人ひとりに合った内容を職員全員で確認し、感覚統合で使用する道具や教材の準備も徹底しています。

終礼では、子どもたちが帰った後にその日の支援を振り返り、気づきや改善点を共有します。この振り返りを通じて、次回の支援に活かし、常に丁寧で質の高い支援を提供できるよう努めています。

【研修制度】

職員が必要なスキルを幅広く習得できるよう、年間計画を立て、月に1回の研修を実施しています。

- ・ 児童発達支援、放課後等デイサービスの基礎
- ・ 認知機能トレーニングの基礎および実践
- ・ 苦情対応、緊急時対応、リスクマネジメント
- ・ 感染症対策、虐待防止、身体拘束、食品衛生
- ・ 個人情報保護、プライバシー管理
- ・ 受給者証の取り扱いや利用開始までのプロセス



【その他】

支援中に気になる点が発生した場合、その内容に基づいた特別研修を随時実施しています。さらに、外部研修にも積極的に参加し、最新の知識や技術を取り入れるとともに、基本的な支援に対する理解を深め、職員一人ひとりの成長を支援しています。

主な行事等



おでかけ

お散歩や公園での遊び、近くの商業施設や体験施設での活動を通じて、地域のさまざまな場所で楽しく過ごし、社会の中での経験を積み重ねます。

季節行事

新春行事、節分、進級のお祝い、運動会、プール遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、お弁当を作ってピクニック、クリスマスなど、季節ごとの行事を楽しみます。

認知スキル (学びの基礎)

色や形、音を楽しみながら覚える活動や簡単な記憶遊び、プリント課題を通じて学ぶ力の基礎を育てます。ひらがなのなぞり書き、迷路、しりとり、大きさ比べ、間違い探しなど、個々の段階に合わせた課題を準備し、好奇心を引き出しながら楽しく学べる環境を整えています。

認知スキル (運動面)

週替わりでさまざまな運動プログラムを実施し、体を動かす楽しさを感じながらバランス感覚や基礎体力を育てます。バランスクッションやボール、ストレッチ器具（チューブ・バランスボード）などを使った運動や全身を使う活動を取り入れ、飽きずに楽しく取り組めるよう工夫しています。また、デジタル療育の一環として、デジリハやスープリュームビジョンなどのデジタル機器を活用し、視覚・認知機能を刺激する運動プログラムを導入しています。これにより、子どもたちが楽しく体を動かしながら自然に運動スキルを高めるとともに、視覚認知や空間認識能力の向上も目指します。

食育

旬の野菜や果物に触れながら、食材や季節感を楽しみます。手洗いや道具の使い方を学び、協力して片付けることを通じて、感謝の気持ちや「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を自然に身につけます。食べ物を大切にする心を育てる機会を大切にしています。

集団活動

季節ごとの制作活動や月のカレンダー作り、体操やレクリエーションを通じて、お友だちと楽しい時間を共有します。月に1回の避難訓練も行い、安心して過ごせる環境を整えています。

キッズヨガ

土曜日2回/月でヨガ講師をお招きし、子どもたちが楽しく体を動かしながらリラックスし、心と体のバランスを整える機会を提供します。ヨガを通じて集中力や身体感覚を高める時間を設けています。

余暇

ルールやマナーを守りながら遊ぶ中で、時間を意識して行動する習慣を身につけます。準備や片付けを通じて、次の活動への切り替えもスムーズに行えるよう支援します。